

No. 0122

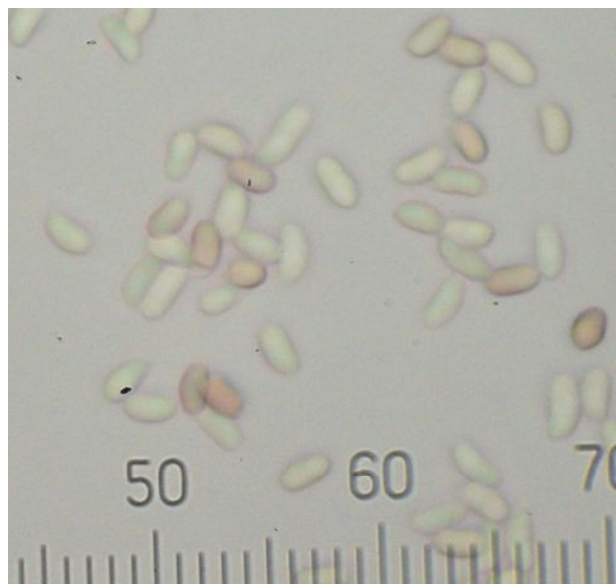
アミガサホウライタケ (=モリノホウライタケ)

Marasmius brunneospermus Har. Takah.

= *Marasmius silvicola* ss. Har. Takah.



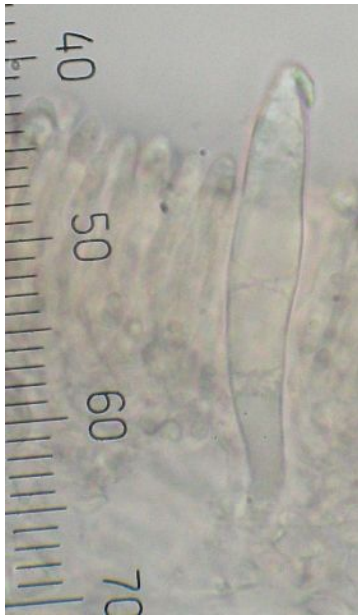




孢子(水封入)



孢子紋



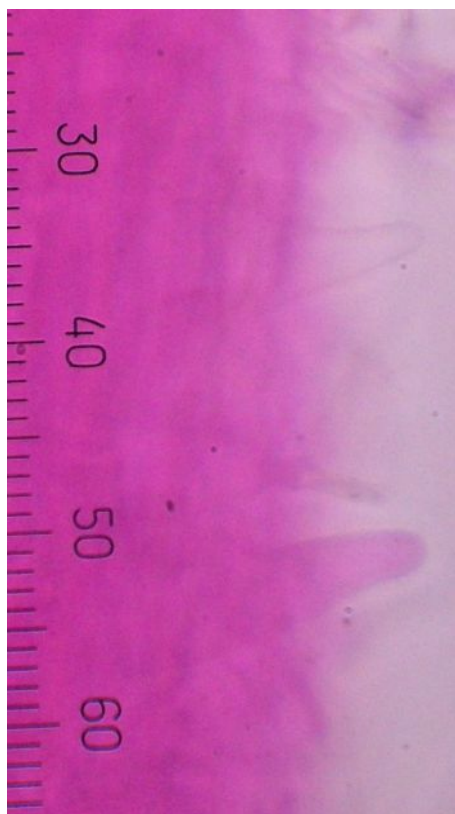
側シスチジア(水封入)



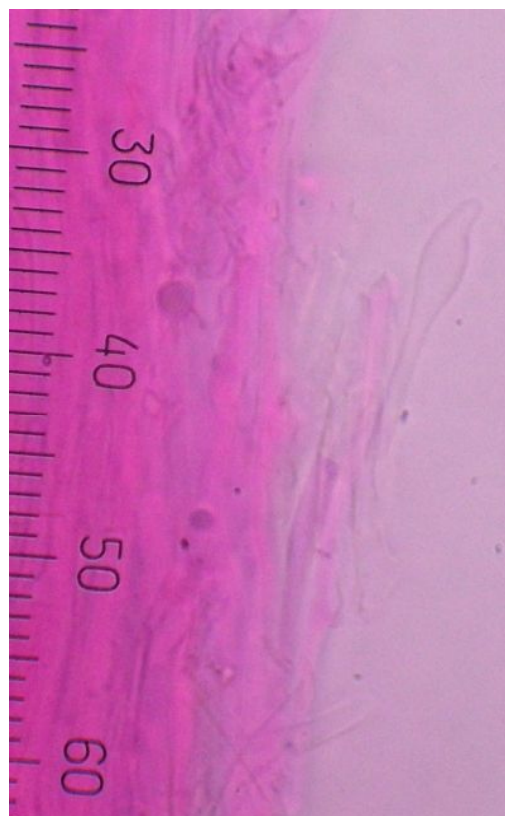
側シスチジア(水封入)



傘上表皮(メルツァー液封入)



柄上表皮(メルツァー液封入)



柄上表皮(メルツァー液封入)

●ホウライタケ属のキノコにしては脆く、質はナヨタケ属のキノコに似ている。

「Antonin et al. 2010. Persoonia 24:49-59」において韓国産の標本並びに日本産タイプ標本のDNA解析を行った結果、白色型や茶色型、また胞子紋が褐色を帯びないタイプなどは全て同一種であることが判明した。

高橋春樹先生にモリノホウライタケとご教示いただいたが、上記の報告により、アミガサホウライタケ *Marasmius brunneospermus* Har.Takah. に和名と学名を変更した。

採集日 2007年7月19日
 採集場所 神戸市須磨区
 採集環境 淡竹の混成する広葉樹林地上
 採集者 幸徳伸也
 同定者 高橋春樹先生
 標本番号 なし